

インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

第3号

藤田祥道	仏語の定義をめぐる考察.....(1)
岩本明美	『大乘莊嚴經論』第13章「修行章」 —サンスクリットテキストと和訳—.....(52)
原田和宗	<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(III) ... (92)
乗山 悟	アルチャタの「推論の解明」 — <i>Hetubindutikā</i> 研究 (1)(pp. 1-5)—.....(111)

1998年

インド哲学研究会

執筆者紹介

藤田祥道	龍谷大学文学部非常勤講師
岩本明美	京都大学大学院生
原田和宗	龍谷大学文学部非常勤講師
乗山 悟	龍谷大学文学部非常勤講師

『インド学チベット学研究』入手のご案内

本誌の入手を希望されます場合は実費で頒布いたします。住所氏名および入手希望号と入手冊数を編集者の神子上恵生までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてお知らせいたします。費用は、第1号、第2号、第3号いずれも各号1310円(送料310円込)となっております。

バックナンバーのご案内

第1号

<掲載論文>

神子上恵生	唯識学派による外界対象の考察(2) —TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章 外界対象の考察—
若原雄昭	仏教徒のジャイナ教批判(2) —Tattvasaṃgraha(-pañjikā), Syādvādaparīkṣā 研究—
藤田祥道	『五百頌般若経』について —試訳(承前)—
那須円照	有部の形実有論と経量部の形非実有論(上)
原田和宗	<経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(I)

第 2 号
＜掲載論文＞

- 藤田祥道 クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論
—『大乘莊嚴經論』第一章第七偈の一考察—
- 原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(II)
- 那須円照 アピダルマの極微論 (2)
—極微が触れるか触れないかという問題を中心として—
- 神子上恵生 唯識学派による外界対象の考察 (1)
—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章
外界対象の考察—

インド学チベット学研究 3

1998年10月発行

編集者 神子上恵生

発行者 インド哲学研究会
(代表者 神子上恵生)

〒600-8128 京都市下京区七条大宮
龍谷大学文学部
神子上(生)研究室気付

DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES
RYUKOKU UNIVERSITY
SHICHIJO OMIYA,
KYOTO 600-8128 JAPAN

e-mail: mikogami@let.ryukoku.ac.jp

郵便振替 00900-6-309785

電話 (075) 343-3311 (大代表)

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

No. 3, 1998

CONTENTS

- Yoshimichi FUJITA,
On a definition of the Word of the Buddha (1)
- Akemi IWAMOTO,
Chap. XIII (Pratipattyadhikāra) of the Mahāyānasūtrālamkāra
—Japanese Translation with Skt. Text— (52)
- Waso HARADA,
Some questions on the concept of
“Der „einschichtiger” Erkenntnis-strom der Sautrāntikas” (III) (92)
- Satoru NORIYAMA,
Arcaṭa, On *anumāna-vyutpādana*
—An Annotated Translation of *Hetubinduṭīkā* (1)(pp. 1-5) — (111)

Editor

Eshō Mikogami

Association for the Study of Indian Philosophy